

流行りの「見える化」でビジネスはどう変わるのか(第1回)

業務を「見える化」すれば経営の精度はもっと高められる

2022.02.14



社会環境の変化に合わせて仕事を変えようとしても、業務が「見える化」できていなければ適切な手は打てません。今回は業務を見える化する、あるサービスを紹介します。

経験や勘に頼った企業は、社会の変化に追いつけない？

人口減少による慢性的な人手不足や、国を挙げて推進される働き方改革、さらにはコロナ禍によるテレワークの拡大など、ビジネスを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。企業の経営者には、こうした社会の変化に臨機応変に対応することが求められています。

とはいえ、今まで続けてきた仕事のやり方を急に変えるのは簡単ではありません。たとえテレワークをするにしても、誰がどの仕事を、どれだけの時間をかけているのか、その仕事はオフィス外でもできる仕事なのか、従業員の業務内容と勤務時間が把握できていないと、すぐにテレワークに切り替えるのは難しい話です。

特に、経営者や幹部の経験や勘を頼りに業務を進めている企業の場合は、環境の変化に合わせて仕事を変えていくのは難しいかもしれません。なぜなら、今までの勘や経験が、新しい時代に通じるとは限りませんし、仕事のやり方を変える際も、なぜ今までの方法では駄目なのか、その根拠が従業員にうまく伝えられず、社内で理解が得られない恐れも十分に考えられるからです。

仕事の「見える化」をしないと、優秀な人材がいなくなる！？… 続きを読む